

# たいよう新聞

468号

2025年1月10日発行

謹賀新年

代表取締役社長 かとう ゆきまさ 加藤 行正

2025年、謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。株主の皆様、ならびに社員の皆様、ご家族の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

## 新しいことに挑戦した一年

2024年の大洋基礎工業株式会社は、社内のDX化や組織変更などに挑戦した年。世間でも話題になった2024年問題は、当社においても多大な影響がありました。週休2日制の導入と、残業規制にともなう大幅な労働時間の短縮により、同じ仕事量を短時間に処理していくためには、ITに頼らざるを得ない。そこでDX化を推進しました。電子請求書の導入で、支店から本社に請求書が上がってくる際のタイムラグがなくなり、スマートフォンでの勤怠管理は、外にいながらにして退社時間を入力できるようになりました。

採用活動は今後も継続して注力していきたい課題です。若い人材が入らないと会社の未来はありません。学生などの求職者に、当社をより知っていただくためにInstagramを開設しました。インターンシップは以前から実施していますが、より積極的に当社から学校へ働きかけ、受け入れる体制を作っています。また、『たいよう新聞』もリニューアルし、見やすくなったと好評の声をいただきました。

## 困難を乗り越え飛躍の年に

2024年は協力会社の倒産、地盤トラブルによる大型工事の遅延という2つの出来事が業績に影響し、売り上げ、株価の面で多大なるご心配をおかけいたしました。

当社は、立て続けに起こったこの難局にも冷静に向き合い、まずはお客様に迷惑をかけてはならないと考え、工期の遅れを取り戻すことに注力。信頼回復に努めました。

結果的に、倒産した会社からは数人の技術者が入社。孫請けの会社も、当社に追随してくれました。これにより、建築事業部の施工体制が以前よりも盤石に整ったのは、ある意味、不幸中の幸い。来期以降の挽回に期待したいと思います。

地盤トラブルについては、当社の技術や経験への過信が引き起こしたトラブルだったため、今一度しっかり足下から見直し、土木工事部門の方針を社内で固めました。機械を入れ、工期を少しでも短縮しようとする当社の姿勢を評価いただけたのか、お客様からは次の工事を受注することができました。

厳しい状況ではありましたが、無事に乗り越え、飛躍に繋げられる一年になったと思います。

## ■ 社員の成長が会社の喜び

現在当社では、経営理念の「働いて良かったといえる職場づくり」を踏まえ、社員とその家族に安心してもらえるような職場環境を模索しています。

建設業界はこれまで週休2日制が難しい業界でしたが、このたびの働き方改革を受け、状況は激変。公共工事のやり方を受け、民間工事においてもその流れはあります。2024年は現場の労働環境を整えるなどコスト度外視で社員を守るよう尽力してきました。

また、福利厚生についてもさらなる充実を図りました。具体的には保険関係の見直しや、社内イベントなど社員のコミュニケーション促進を目的とした会費補助制度である福利厚生推進

券のバージョンアップです。特に福利厚生推進券は、すべての社員がより利用しやすい形にできないか、さらに検討していきます。

もう一つの経営理念は、「社会に存在価値のある職場づくり」。利益を出して税金を払うのも、事務所周辺の清掃で近所の方に喜ばれることも、いずれも立派な社会貢献です。他人が喜ぶことをすると、必ず自分に返ってきます。技術力を磨くことも大事ですが、人間として頼りがいのある人に成長してほしい。そのためには会社もどんどんバックアップします。個々の成長が会社の成長を促すのです。ケガをせず、健康第一で今年も一緒に前に進んでいきましょう。

## ■ 株主の皆様へ

昨年の株主総会ではいろいろご質問いただいたにもかかわらず、株主様の目線に立った対応ができず、議長として至らなかったと反省しております。中期経営計画の作成により、具体的に会社が何を考え、どう行動していくかを発信し、企業価値を高め、「当社の株を買って良かった」と思ってもらえるよう、精一杯努力してまいります。

時代の変化や、さまざまな難局を経てきた一年。その経験を活かし、さらに飛躍する2025年になりますよう、社員の皆さん、ともに頑張ってください。株主の皆様、今後とも変わらぬお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

# 最前線レポート

## 唐津肥前線道路防災対策工事(擁壁工)

大雨で被害を受けたダムの擁壁・法面。その修復工事現場では、専門技術を駆使した復旧作業が進められています。1tもの重さがあるコンクリートパネルを扱う現場ならではの苦労とは？

### 現場概要

施工期間	2024年8月20日～2025年8月29日
場所	佐賀県唐津市神田
発注者	唐津土木事務所
元請会社	株式会社岸本組 様
一次下請会社	太洋基礎工業株式会社
施工体制	太洋基礎工業3名・協力会社5名
施工目的	大雨で崩れた平木場ダムの擁壁・法面の工事



九州支店 工事部

Tさん



### 現場の特徴

#### RBPウォール工法で擁壁法面を補修

コンクリートパネルを設置し、その後に鉄筋挿入工でパネルを押しこめるRBPウォール工法で施工を行っています。RBPパネルの施工面積は290.22㎡、挿入される鉄筋は8.5mが206本、3mが39本で、計245本です。パネルは1t以上あるため、設置の際に手足などを挟まないよう、オペレーターと作業員の合図確認を徹底するよう心がけています。

### 苦労した点と乗り越え方

#### チームワークを発揮してパネルを歪みなく設置

全部で9段、パネルを設置する必要があります。今回は上から下に向かって取り付ける逆巻工法での施工で、特に基準となるパネルの取り付けに苦労しました。基準パネルにズレが生じてしまうと、下の段にも影響が出るため、歪みなく設置する必要があります。重いパネルをきれいな直線で並べるためにはチームワークが大切です。いつも以上に声をかけ合い、息を合わせて作業しています。



### 施工完了に向けて

現時点でまだ6段程、未設置のパネルが残っています。現場には私たち以外の同業者もいるため、作業スペースを明確にし、無事故無災害で最後まで作業したいと思っています。また、重機の点検も欠かさないよう徹底し、安全に配慮して進めていくつもりです。

### 現場でのエピソード

作業場の近くにイノシシが出ました。しばらくしてイノシシは何事もなかったかのように森に帰っていきましたが、これまでの現場では見かけたことがなかったため、皆さん驚いていました。

KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT

## 最近気になっていること

### 気候変動による現場の負担

夏の猛暑から一変して急激に冷え込む異常な気候に加え、能登半島の豪雨や線状降水帯といった各地での異常気象による災害が多い年でした。特に「熱ストレスによる世界の労働損失が年間6700億ドル(約100兆円)」という新聞記事からも、猛暑が労働環境に与える深刻な影響が伝わり、過酷な状況での現場の努力には頭が下がる思いです。内勤で働いている立場からは、現場の大変さをすべて理解することは難しいかもしれません。ただ、総務として、業務が円滑に進むようサポートを行い、少しでも現場の負担を軽くしていかなければならないと感じています。

## 業務の中で感じた気づき

### 対面でのコミュニケーションの価値

現場でお客様や協力会社との連携が不可欠であるように、私が所属する総務部でも全従業員との円滑なやり取りが重要です。相手に寄り添い、気持ち良く仕事が進められる対応を心掛ける一方、世間話や何気ない雑談に価値があることも。状況に応じて一步踏み込んで、会話を広げることも大切にしています。また、現在はSNSやオンライン会議ツールが普及しましたが、直接顔を合わせて話すことの価値は色あせません。結局のところ、人と人とのつながりが仕事を動かし、会社を支えているのではないのでしょうか。現在当社が抱えている若い人材の採用という課題に対しても、コミュニケーションを通じてアプローチしていきたいと思っています。

# 声援



管理本部 総務部

Mさん



## 2025年は

# どんな年になる？



### 2025年の干支は「乙巳(きのとみ)」

干支は、十干(じっかん)と十二支を組み合わせたものを指します。十干とは何かと言うと、古代中国で日を1~10まで数えるときに使った「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」のこと。この十干と十二支を組み合わせたものを干支と呼ぶのです。十干にはそれぞれ、「陰・陽」と「木・火・土・金・水」の陰陽五行説(いんようごぎょうせつ)が当てはめられています。日本では「陽」を「兄(え)」、「陰」を「弟(と)」に見立て、「兄弟(えと)」と呼ぶようになりました。

2025年は十干の2番目「乙(きのと)」の年です。これを十二支の「巳(み)」と組み合わせて「乙巳(きのとみ)」となります。なお干支の組み合わせは60種類あり、一巡すると「自分の生まれた干支に戻ってきた」ということで60歳の還暦のお祝いをします。

### 乙巳の年は、成長と結実の時期となる

「乙」は成長途中の状態を表し、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味すると言われています。そのため「乙巳」の年は、これまでの努力や準備が実を結び始める年になると考えられます。

早い方だと、2025年中に具体的な成果が現れ出し、大きな結果を手にする方もいるかもしれません。しかし成長スピードは人それぞれ違います。結果を得るまで時間が掛かる方もいるでしょう。そのため、2025年は辛抱強さが試されます。すぐに結果が出なくても、焦らず粘り強く取り組むことが大切です。自分のペースで着実に前進すれば、ほしい結果に近づけるでしょう。